

# 県中教育

## 随想

### 頭の体操と「観」の転換

県中教育事務所 次長（業務担当）兼学校教育課長 新田 展弘



小学生の頃の思い出として、忘れられない問題があります。あるとき、担任の先生から、クイズやパズルを集めた本「頭の体操」（多湖輝著）の中から次のような問題が出されました。

「蒸気機関車に乗っている二人の乗客が向かい合わせの席に座っている。窓を開けて進む車両がトンネルを過ぎると、二人の乗客のうち、一人の顔が煤で汚れてしまった。ところが、顔が汚れた乗客は慌てず、顔が汚れていない反対側の席の乗客が慌てている。なぜだろうか。」

が思いつきませんでした。いくら考えても分からないでいると、同級生から、「顔が汚れていない乗客は、顔が汚れた乗客を見て、自分も汚れてしまったと思っただけで慌てたと思う。」と、発言がありました。同級生の解答を聞いて、「なるほど」と納得し、同級生の発想の豊かさに感心しました。このときの担任の先生からの教えは、常識を疑って、固定観念を打破し、様々な見方をする柔軟な思考をすることでした。

さて、令和三年一月に中央教育審議会が答申した『令和の日本型学校教育』の構築を目標としての中で、一人一人の子どもを主語とする学校教育の実現が強調されています。これは、これまで「指導者の視点」から考えてきた学校教育に「学習者の視点」を付加する見方です。学習者の子どもから学校教育を見ると、現

編集・発行 福島県教育庁 県中教育事務所

発行責任者 芦沢 康

編集協力 県中市町村教委連各支会 県中各地区小中学校長会協議会

在、県が作成を進めている『学びの変革』授業デザイン」の中でも、「子ども観」「学力観」「授業観」「評価観」の四つの「観」の転換が述べられています。「観」の転換のためには、自分の「観」を絶えず見つめ直し、子どもの学びについて問いを持ち、考えを深めることが大切です。次の四つの問いについて考えてみましょう。

- 子どもは、どのような存在ですか？
- どのような力を育てる必要があるのでしょうか？
- どのような学びがふさわしいのでしょうか？
- 何のために、子どもの何を、どのように見取り、評価していますか？

## 質の高い教育で 子どもたちの未来を支える 学都こおりやま

郡山市教育委員会教育長 早崎 保夫



郡山市は、令和六年九月一日、市制施行百周年を迎え、令和七年度は新たな百年に向けての一年目の位置づけになります。そのような中で、教育長

就任には、非常に大きな覚悟が必要でしたが、私の三十九年間の教員生活のうち三分の二にあたる二十六年間を、郡山市でお世話になりましたから、少しでもその恩返しができるのであればと自身の資質・能力も顧みず、長年にわたり郡山市教育委員会を支えてこられた小野義明前教育長から大変重いバトンを引き継いだ次第です。

教育委員会の職務のうち特に学校教育は、子どもたちの幸せな未来を創造する崇高な営みであり、社会が加速度的に変化し、複雑で将来予測が困難な時代に生きる子どもたちにとって、教育の果たす役割は今後ますます重要なものとなっていきます。このような状況の中、本市教育委員会においては、「質の高い教育で学都こおりやま」を合言葉に教育行政のさらなる充実に取り組むとともに、不登校や教員不足など様々な教育課題については、県中教育事務所や各学校と連携しながらその解決に向けて着実に歩みを進めていきたいと考えております。

本市はその地理的・歴史的な背景から経済県都として、また音楽都市郡山（楽都郡山）として大変有名です。また、本市教育委員会は、郡山市発展の礎である安積疏水の開拓者精神を脈々と受け継ぎ、これまで、例えば二十年も前に現在の義務教育学校の先駆けとなる校舎一体型小中一貫教育を湖南小

# 受賞おめでとうございます

「感謝を胸に」

須賀川市立第二中学校

校長 酒井 宏尚



この度、福島県教育委員会令和七年度教育・文化関係表彰・学校教育功労者表彰を受けるに至りましたことは、望外の喜びであり、これまでお支えくださった皆様にご心より感謝申し上げます。

本県教員として歩み始めて三十五年、八つの小中学校と二つの教育行政機関での勤務を通して、教えきれない学びと成長の機会をいただきました。筑波大学での長期研修、児童自立支援施設での四年間の勤務も、私の支えとなった大切な経験です。

道を照らし導いてくださった先輩方、日々の励みとなってくれた子どもたち、共に汗を流し支え合ってきた先生方、すべての出会いに深く感謝いたします。こうした出会いの積み重ねが、私の教員人生を豊かなものにしてくれました。この受賞を新たな励みとして、これからも子どもたちと教職員のため誠心誠意努めてまいります。

## 教育関係各種表彰

### ◆文部科学大臣表彰◆

○地方教育行政功労者

飯村 新市

○子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体

学校法人佐藤学園

開南幼稚園(郡山市)

郡山市立桜小学校

読み聞かせ会「あのね」

(古殿町)

○「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰

福島県郡山市家庭教育支援チーム 郡山家庭教育

を支援する会

○優秀教職員

郡山市立富田東小学校

教諭 菅野 健彦

須賀川市立第三中学校

教諭 善方 昭博

福島県立田村高等学校

教職員

◆福島県教育委員会等表彰

○地方教育行政功労者

森合 義衛

○学校教育功労者

酒井 宏尚

鈴木 龍也

○社会教育関係・功績顕著な社会教育関係施設

郡山市立喜久田公民館

郡山市立田村公民館

○特別功績者

優秀教職員

郡山市立金透小学校

主幹教諭 久野 雄平

郡山市立行健中学校

教諭 上石 直美

優秀教職員団体

天栄村立天栄中学校

○各種功労者知事表彰

保健衛生功労者

田中 浩二

○県教職員研究論文

入選(個人)

郡山市立富田小学校

教諭 齋藤 純子

入選(団体)

天栄村立天栄中学校

代表 校長 市川 知広

(敬称略・順不同)

※ 県教育委員会主催の各種コンテスト等では、関係各位に御協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。



## 県事業取組紹介 ～ 推進教員より ～

外国語教育推進リーダー

「外国語教育の小中連携に向けて」

田村市立船引小学校

教諭 黒田 結華

今年度、船引小中学校での合同の授業研究会開催により、有意義な研修ができました。

事後研究会での話題の一つに、「書くことの指導」が挙げられました。小中学校それぞれが責任をもって指導すべき事項を確認したことで、今後の指導に向けて大きな刺激となりました。中学一年生が小学校とは比較にならない量の英文を書く姿を見て、現在指導中の児童に対して「アルファベットは確実に書けるようにして卒業しよう」と卒業までの目標を明確にして指導を進めるきっかけとなりました。

さらに、小学校において文構造を意識させることが中学校での文法の指導に発展していくことも確認しました。小学校で外国語科を学習した児童が、中学校での全国学力・学習状況調査の対象となっている今、小学校においても外国語科の知識・技能の定着に責任をもたなくてはいけないことを自覚しました。

今後、英語を使う楽しさを味わわせる指導と、確かな学力を身に付けさせる指導の両方を意識していきたいと思

イノベーション人材育成推進教員

「イノベーション人材育成推進教員として」

鏡石町立鏡石中学校

教諭 新田 健斗

「イノベーション推進教員? 一体何をしたらよいのだろうか...」これが私のイノベーションとしてのスタートでした。イノベ教員の役割は「理数分野に対する興味・関心を高め、ふくしまの復興を担う人材の裾野を広げる」ことです。

私はイノベ教員として、生徒たちに理科の楽しさを伝え、目の前の事物・現象をいかに自分事として捉えさせるかをテーマに実践を行いました。特に「単元構想」に力を入れ、探究のサイクルを明確にする取組をしました。

具体的には、生命の連続性の単元で、鏡石町の象徴である「岩瀬牧場」を題材にし、岩瀬牧場をより発展させるために必要なことについて、単元の学習と関連させながら探究していく活動を行いました。

地域の課題を理科の学習事項を用いて改善しようと考え、生徒の姿が見られ、主体的に学ぶ意義を改めて感じました。

今後、イノベ教員として学んだことを生かし、さらなる授業改善に努めていきたいと思





# 県事業推進校紹介

令和七年度超スマート社会を担う産業人材育成事業  
「専門教育魅力発信応援事業」

「専門教育魅力発信応援事業を活用して」

## 天栄村立牧本小学校

「みなさんが知っている職業を挙げてみましょう。」子どもたちから自分が知っている職業が挙がってきます。「では、みなさんが将来目指したい、なりたい職業は何ですか？」

これは、本事業を実施するにあたって十二名の六年生たちとの事前指導の一場面です。

本校は、「自ら考え、共に学ぶ子ども・思いやりのある子ども・たくましい子ども」を教育目標とし、全校生五十三名・教職員十五名で「笑顔」と「やさしさ」があふれる学校を目指して教育活動に取り組んでいます。「本物の体験」を大切にし、元お笑い芸人・フリーアナウンサー・和太鼓奏者・フラガールなどをお招きして、様々な職業人との出会いを作ってきました。本事業では、岩瀬農業高等学校のヒューマンサービス科の二年生と交流を行いました。専門教育を学ぶ高校生と交流することにより、高校生活に思いを描き、進学への関心を高めるとともに、自分の夢の選択肢を増やし、なりたい自分を見つけることがねらいです。苗の植え替えでは、高校生のアドバイスをもらいな



ら、小さな苗を植え替えていきまめのうちには、お互いに緊張をしていますが、作業中の会話を通して、少しずつ距離が近くなっています。施設見学では、東京ドーム九個分の広大な敷地の中にある、花栽培のビニールハウス・牛舎などを見せていただきました。牛舎では、牛に触れることもできました。「怖がっている」と牛に伝わってしまうよ。一等と友達と話をしながら、少しずつ触ることができるようになっていきました。

子どもたちの感想には、「農業にもっと興味をもちました」「見学を通して、もう一度自分の叶えたい夢を見つけました」「みなさんと話をしていると楽しそうでした」「農業系の職業などの選択肢が増えました」「困っていたら優しく声をかけてくれて嬉しかった。私も優しい高校生になりたい」と書かれています。短時間での交流でしたが、夢の広がりが見えた活動となりました。



「専門教育魅力発信応援事業を実施して」

## 福島県立岩瀬農業高等学校

専門高校の魅力は、専門的な知識や技術を実際の体験を通して学べる点にあると思います。専門教育魅力発信応援事業で行われた小中学生との体験学習では、高校生が先生役となり、地域の子どもたちと協働しながら農作業に取り組みました。高校生は作業の手順や理由を分かりやすく伝える中で、自分の学びを深く理解し、人に教える喜びや達成感を味わうことができました。また、年齢や立場の異なる相手と協力する経験を通して、責任感やコミュニケーション力といった社会で求められる力も身に付けることができましたと実感しています。

一方、小中学生も体験を通して自ら進んで活動に参加することで、学ぶ楽しさを実感し、農業や専門高校への関心を高められたと思います。こうした実践的で協働的な学びこそが、専門高校ならではの大きな魅力だと思います。

今後このような機会を活かし、専門高校の魅力伝えていきたいと思えます。



# 県中教育事務所よりお知らせ

## 学校教育課 指導担当より

### 「不登校支援の取組について」

今年度の「不登校児童生徒に関する月別調査」と「不登校児童生徒に関する定期調査」の結果からは、不登校児童生徒数は昨年度と同様の推移を示していることと、不登校の低年齢化が進んでいることが分かります。

不登校対策は不登校児童生徒の有無にかかわらず、発達支持的生徒指導の視点から、全ての学校で行っているといえます。また、スペシャルサポートルーム等の別室での学習機会の保障やICTを有効活用した学習機会の確保等、児童生徒一人一人の居場所づくりに加え、安心して学べる環境づくりに努めています。さらに、一学期以降、ルームエフの入級児童生徒が増えており、学びの機会の一助となっています。中学生の不登校生徒数と新規不登校生徒数の減少につながっている一方で、小学生の不登校児童数と新規不登校児童数が増加しています。小学一年生から不登校児童が出現していることから、未然防止と早期対応が必須といえます。そして、原因が「無

気力」「家庭環境」「不安・抑うつ」「学業不振」「昼夜逆転」と多岐に渡っていることと、不登校が複合的な背景で起こっていることから、学校・家庭が一体となり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外部機関と連携しながら、児童生徒一人一人と関わっていくことが重要です。不登校支援の取組については左記の二次元コードからも読み込んでいただき、支援を必要とする児童生徒への指導の充実にぜひ活用をお願いいたします。



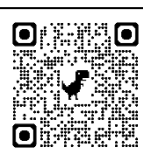
「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について(通知)」(令和5年3月31日)より



「不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果に係る成績評価について(通知)」(令和6年8月29日)より



「不登校等の児童生徒への対応及び重大事案の未然防止に関するマニュアル」令和6年4月福島県教委



「ふくしまサポートガイド~ふくしまのすべての子どもたちのために~」令和3年1月福島県教委



「不登校対応資料Vol5 豊かな学校生活のために~チームで切れ目のない援助を~」平成29年2月福島県教委

# 県中教育事務所よりお知らせ

## 総務社会教育課

### 社会教育担当より

#### 「第十一回ビブリオバトル」

#### 福島県大会県中地区予選会

ビブリオバトルは、参加者一人一人がおすすめの本を五分間で紹介し合い、最終的に「一番読みたくなった本」を投票で決める書評ゲームです。

今年度の県中地区予選会は、八月三十日(土)、郡山市立中央公民館で行われました。中学生六名、高校生七名の発表者が、百三十名を超える観戦者に向けて、それぞれ自分の思いを織り交ぜながら、熱いバトルを繰り広げました。



「個性あふれる発表に心を打たれた」  
「どの本も読みたくなるような発表だった」「本やビブリオバトルへの興味が改めて湧いてきた」など、観戦者から、多くの温かいお言葉をいただきました。また、高校生と大学生の運営ボランティアも大好評でした。

大会運営にあたり、皆様からのご理解とご協力をいただきましたことに感謝いたします。

### 「ふくしま絆ふれあい支援事業」 「ふくしまを十七字で」 奏でよう!

人と人とのふれあいを、涙が滲んでくるような言葉で描いたり、震災復興から感じた思いを表したりするなど、どれも心に残る作品ばかりでした。

最終選考の結果、県中域内から最優秀賞一組、佳作七組が入賞しました。また、県中教育事務所独自の学校賞として三十二校三園、奨励賞として十三組を表彰しました。

県中域内の表彰の様子や入賞作品は、県中教育事務所のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

### 【県中域内学校賞】

- 郡山市立東芳小学校
- 郡山市立海老根小学校
- 須賀川市立大東小学校
- 須賀川市立大森小学校
- 須賀川市立白方小学校
- 天栄村立牧本小学校
- 天栄村立湯本小学校
- 石川町立石川小学校
- 石川町立浅川小学校
- 古殿町立古殿小学校
- 平田村立蓬田小学校
- 田村市立大越小学校
- 田村市立都路小学校
- 田村市立船引南小学校
- 田村市立美山小学校
- 三春町立三春小学校
- 三春町立岩江小学校
- 三春町立中妻小学校
- 三春町立中郷小学校
- 小野町立沢石小学校
- 小野町立小野小学校
- 須賀川市立義務教育学校稲田学園
- 郡山市立明健中学校
- 郡山市立郡山第四中学校
- 須賀川市立第一中学校
- 須賀川市立第二中学校
- 須賀川市立仁井田中学校
- 石川町立石川中学校
- 玉川村立玉川中学校
- 平田村立ひらた清風中学校
- 浅川町立浅川中学校
- 田村市立船引南中学校
- 須賀川市立稲田幼稚園
- 須賀川市立長沼こども園
- たまかわクックの森

### 総務社会教育課

#### 総務担当より

#### 「扶養について」

扶養については、これまで何度か取り上げてまいりましたが、昨年、年収の壁が引き上げられ、令和八年には百七十八

### 学校教育課 管理担当より

#### 「講師募集のお知らせ」

令和八年度の講師募集にあたり、多くの方に来庁いただきました。志願書類を確認する際には、担任している学級や授業の様子、三学期に向けての意気込みなど、たくさんのお話をうかがいました。子どもたちとしっかりと向き合っているからこそその話でした。

さて、講師(常勤や非常勤)の募集は引き続き行っていますので、まだ手続きを行っていない方は、左にある二次元コードを読み取り、書類をダウンロードし、必要事項を記入の上、提出をお願いいたします。その際は事前に電話等で来庁日時をお知らせください。

また、お近くに教員免許状をもち、教壇に立ちたいとお考えの方がいらつしやいましたら、ぜひ、お気軽に教育事務所にご相談ください。

ペーパーチャーター相談会は、今後も開催予定です。

【採用担当連絡先(電話)】  
〇二四一九三五―一四八九

#### 【講師募集書類

二次元コード】



【県入賞作品】  
◎ふるさと部門 最優秀賞

ばあちゃんち Wi-Fiないけど  
落ち着くね  
平田村立小平小学校  
六年 片野 陽菜

通知ゼロ 画面の外に 空がある  
父 片野 強